

2010年4月21日 発行

2023年12月4日 改訂

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: ペースト
品番	: FS120-01, -02
会社名	: 白光株式会社
住所	: 大阪市浪速区塩草 2 丁目 4 番 5 号
担当部門	: 営業部
電話番号	: 06-6561-1574
FAX 番号	: 06-6568-0821
メールアドレス	: cs@hakko.com
推奨用途	: はんだ付け用ペースト

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

爆発物	: 分類できない
可燃性ガス	: 区分に該当しない (分類対象外)
エアゾール	: 区分に該当しない (分類対象外)
酸化性ガス	: 区分に該当しない (分類対象外)
高压ガス	: 区分に該当しない (分類対象外)
引火性液体	: 区分に該当しない (分類対象外)
可燃性固体	: 分類できない
自己反応性化学品	: 分類できない
自然発火性液体	: 区分に該当しない (分類対象外)
自然発火性固体	: 分類できない
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類できない
酸化性液体	: 区分に該当しない (分類対象外)
酸化性固体	: 分類できない
有機過酸化物	: 分類できない
金属腐食性物質	: 分類できない
鈍性化爆発物	: 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	: 区分 4
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入: 気体)	: 区分に該当しない (分類対象外)
急性毒性 (吸入: 蒸気)	: 分類できない

急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	:	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	:	区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	:	区分 1
呼吸器感受性	:	分類できない
皮膚感受性	:	分類できない
生殖細胞変異原性	:	分類できない
発がん性	:	分類できない
生殖毒性	:	分類できない
生殖毒性・授乳影響	:	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	:	区分 2：呼吸器
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	:	区分 2：全身毒性
誤えん有害性	:	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）	:	区分 2
水生環境有害性 長期（慢性）	:	区分 2
オゾン層への有害性	:	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語	:	危険
危険有害性情報	:	飲み込むと有害 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 呼吸器の障害のおそれ 長期にわたる又は反復ばく露による全身毒性の障害のおそれ 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策	:	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 取扱い後は手をよく洗うこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置	:	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
保管	:	直射日光の当たらない涼しい場所で保管すること。
廃棄	:	内容物、容器は国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

3.組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区分 : 混合物
化学名又は一般名 : フラックス
成分及び濃度又は濃度範囲

成分	含有量 (%)	CAS 番号
ワセリン	75-85	8009-03-8
塩化亜鉛	5-15	7646-85-7
塩化アンモン	<5	12125-02-9
固形パラフィン	5-15	8002-74-2
精製水	<5	7732-18-5

4.応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努めその後速やかに医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 石鹼で洗い、水で十分に洗い流す。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上瞼の裏側を含めて洗眼した後、眼科医の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。医師に連絡すること。
- 予想される急性症状及び遅発性症状 : 吸入した場合：蒸気とミストは肺、気道上部を刺激する。
皮膚に触れた場合：皮膚を刺激する。
眼に入った場合：粘膜を刺激する。

5.火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末消火薬剤、砂
- 使ってはならない消火剤 : 水
- 火災時の特有の危険有害性 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防処置 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器や防護服（耐熱性）を着用する。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業者は適切な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 飛散したものを掃き集め、空容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : 特になし。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 換気及び保護具の着用。
- 局所排気・全体換気 : 局所排気か全体換気を行う。
- 安全取扱注意事項 : 適切な保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
ヒュームの吸入を避ける。

- 接触回避 : 目、皮膚、衣服への接触を避ける。
長時間または反復の曝露を避ける。
- 衛生対策 : 取扱い後に手を十分に洗浄する。
作業中は飲食、喫煙をしない。
- 保管
 - 安全な保管条件 : 容器を密閉して換気の良い冷暗所で保管すること。
 - 避けるべき保管条件 : 直射日光の当たらない涼しい場所で保管すること。
 - 安全な容器包装材料 : 密閉式の破損しない容器を使用する。

8.ばく露防止及び保護措置

許容濃度

日本産業衛生学会	:	3mg/m ³	:	ワセリン
ACGIH 勧告値	:	TWA 1mg/m ³	:	塩化亜鉛
	:	STEL 2mg/m ³	:	塩化亜鉛
	:	TWA 10mg/m ³	:	塩化アンモニウム
	:	STEL 20mg/m ³	:	塩化アンモニウム
	:	TWA 2mg/m ³	:	固形パラフィン (ヒューム)

- 設備対策 : この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。
高熱工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置する。
密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない。
気中濃度を推奨された管理濃度以下に保つために、工程の密閉化、局所排気、その他の設備対策を使用する。

保護具

- 呼吸用保護具 : 適切な呼吸用保護具を着用すること。
- 手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。
- 眼、顔面の保護具 : 適切な眼の保護具を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣、安全靴を着用すること。

9.物理的及び科学的性質

- 物理状態 : ペースト状
- 色 : 白色～黄色
- 臭い : 無臭
- 融点・凝固点 : 40℃以上
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : 100℃以上
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 該当しない
- 引火点 : 180℃以上
- 自然発火点 : 該当しない
- 分解温度 : データなし
- pH : データなし

動粘性率	:	該当しない
溶解度	:	該当しない
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	:	該当しない
蒸気圧	:	該当しない
密度及び／又は相対密度	:	該当しない
相対ガス密度	:	該当しない
粒子特性	:	データなし

10.安定性及び反応性

反応性	:	塩基、酸化剤、金属酸化物、繊維素を溶解する。
化学的安定性	:	空気中で潮解する
危険有害反応可能性	:	水溶液は強酸であり塩基と激しく反応する
避けるべき条件	:	熱源、空気、水
混触危険物質	:	塩基、酸化剤、金属酸化物
危険有害な分解生成物	:	加熱すると分解し、有害なヒューム（塩化水素、酸化亜鉛）を生じる。

11.有害性情報

急性毒性（経口）	:	H302 飲み込むと有害
急性毒性（経皮）	:	分類できない
急性毒性（吸入：気体）	:	GHS 定義による気体ではない
急性毒性（吸入：蒸気）	:	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	:	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	:	H314 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	:	H318 重篤な眼の損傷
呼吸器感作性	:	分類できない
皮膚感作性	:	分類できない
生殖細胞変異原性	:	分類できない
発がん性	:	分類できない
生殖毒性	:	分類できない
生殖毒性・授乳影響	:	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	:	H371 呼吸器の障害のおそれ
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	:	H373 長期にわたる又は反復ばく露による全身毒性の障害のおそれ
誤えん有害性	:	分類できない

12.環境影響情報

生態毒性		
水生環境有害性 短期（急性）	:	H401 水生生物に毒性
水生環境有害性 長期（慢性）	:	H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

残留性・分解性	:	データ不足のため分類できない
生体蓄積性	:	データ不足のため分類できない
土壌中の移動性	:	データ不足のため分類できない
オゾン層への有害性	:	データ不足のため分類できない

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	:	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器・包装	:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.輸送上の注意

国際規制		
国連番号	:	1759
品名	:	CORROSIVE LIQUID,ACIDIC,INORGANIC,N.O.S.
国連分類	:	8
容器等級	:	III
国内規制		
海上規制情報	:	適用法令を参照
航空規制情報	:	適用法令を参照
陸上規制情報	:	適用法令を参照
輸送の特定の安全対策及び条件	:	輸送に際しては、直射日光を避け、水漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
緊急時応急措置指針番号	:	154

15.適用法令

労働安全衛生法	:	【ラベル表示・SDS 交付義務対象物質】 塩化亜鉛・塩化アンモニウム・ワセリン・固形パラフィン
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	:	第 1 種指定化学物質 亜鉛の水溶性化合物 (塩化亜鉛)
毒物及び劇物取締法	:	非該当
船舶安全法	:	腐食性物質 危規則第 2、3 条危険物告示別表第 1
航空法	:	腐食性物質 施行規則第 194 条危険物告示別表第 1
消防法	:	指定可燃物質、可燃性固体類 法第 9 条の 4、危険物令第 1 条の 12 別表第 4

16. その他の情報

出典 製造業者の SDS。

本データは現時点で入手できる情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。記載内容は通常の使用状態におけるものであり、危険有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、使用におかれましては、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。

改訂履歴

改訂日	内容
2010 年 4 月 21 日	初版発行。
2012 年 6 月 15 日	PRTR 法の表記を変更。
2015 年 11 月 26 日	SDS へ改訂。
2022 年 6 月 7 日	JIS Z 7252 (2019) 、 JIS Z 7253 (2019) に対応。
2023 年 10 月 11	2021 年 10 月 20 日公布 2023 年 4 月 1 日施行 化管法政令改正に対応を追記。
2023 年 12 月 4 日	ピクトグラム修正、フォーマット変更。